

## 第 学年 理科学習指導案 例

日時： 年 月 日 ( ) 第 校時  
 場所： 小学校 年 組  
 児童： 名  
 指導者： 立 小学校 ○○○○

1 単元名(教材名)【 出版「小学校理科○年」】

2 単元の目標

- (1)【例】～について理解し、～することができる。 【知識及び技能】  
 (2)【例】～を考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】  
 (3)【例】～学習に活用しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】

3 指導について

(1)教材について(教材観)

\*単元の目標に基づき、単元の内容、単元の系統性、単元を取り上げる意義などを「小学校学習指導要領解説 理科編」などを参考にして記載する。

(2)児童について(児童観)

\*指導に関わる集団としての学習への向かい方や姿勢、到達度等を示す。

(3)指導について(指導観)

\*指導・支援の力点、学習形態、教材教具の工夫など、本時の学習内容をどのように指導していくのか具体的に記す。

4 単元の評価規準(例:5年「もののとけ方」)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①ものが水に溶けても、水とものとを合わせた重さは変わらないことを理解している。 *「知識」についての「単元の評価規準」は、学習指導要領の「2 内容」の知識に関する内容である(ア)、(イ)などの文末を「～を理解している」として作成する。 ②… ③ものの溶け方について、器具や機器などを選択し、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録	①ものの溶け方について、問題を見だし、予想や仮説をもとに、条件に着目して解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 *学年で主に育成を目指す問題解決の力を踏まえ、「(A)について、(学年で主に育成を目指す問題解決の力)、表現するなどして問題解決している」とし、(A)を学習指導要領の「2 内容」における学習の対象に置き換えて作成する。	①ものの溶け方についての事物・現象に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら問題解決しようとしている。 ②ものの溶け方について、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 *「(A)についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている」「(A)について学んだことを学習や生活に生かそうとしている」とし、(A)を学習指

<p>している。</p> <p>*「技能」についての「単元の評価規準」は、「(A)について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に(分かりやすく)記録している」とし、(A)を学習指導要領の「2 内容」における学習の対象に置き換えて作成する。</p>	<p>②ものの溶け方について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>*「(A)について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している」とし、(A)を学習指導要領の「2 内容」における学習の対象に置き換えて作成する。</p>	<p>導要領の「2 内容」における学習の対象に置き換えて作成する。</p>
---	---	---------------------------------------

5 学習指導と評価の計画(全15時間)(例:5年「もののとけ方」)

時間	ねらい・学習活動	重点	記録	備考
1	<p>○食塩が水に溶けるようすを観察して気付いたことを話し合う中で、問題を見いだす。</p> <p>*児童の立場で書く。</p>	思	○	<p>思考・判断・表現①</p> <p>【発言・記述分析】</p> <p>ものが溶ける様子を観察し、話し合う中で問題を見いだしているか評価する。</p>
2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>問題:水にとけたものの重さはどうなるのだろうか。</p> </div> <p>○既習の内容や生活経験を基に予想し、実験計画を立てる。</p> <p>*問題とそれに対応する結論とが分かるように記述する。</p>	思	○	<p>思考・判断・表現①</p> <p>【行動・発言・記述分析】</p> <p>ものの溶け方や溶けたもののゆくえについて、予想や仮説をもとに、条件に着目して解決の方法を発想し、表現しているか評価する。</p>
3	<p>○食塩を水に溶かす前と溶かした後との重さを調べる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>結論:ものが水にとけても、水とものを合わせた重さは変わらない。</p> </div>	知		<p>知識・技能①【発言・記述分析】</p> <p>ものが水に溶けても、水とものを合わせた重さは変わらないことを理解しているかを評価する。</p>

\*重点:児童の学習状況を確認する際、重点とする観点

知…知識・技能、思…思考・判断・表現、態…主体的に学習に取り組む態度

\*記録:○は、備考に記入されている評価規準に照らして、児童全員の学習状況を記録に残す場合

## 6 本時について(2/15)

### (1)本時の目標

\*単元の目標、単元の評価規準、学習指導と評価の計画に即して、本時の目標を設定する。

\*【知識及び技能】【思考力、判断力、表現力等】【学びに向かう力、人間性等】のうち、どの資質・能力における目標なのかを示す。

\*児童の立場で書く。

### (2)本時の展開(例:5年「もののとけ方」)

	学習活動	主な発問と 予想される児童の反応	○指導上の留意事項 ・評価規準 【評価の方法】
導 入 ○ 分	1. 問題を確認する。 *児童の立場で書く。	・見えなくなっているのだから、蒸発したと思う。だから、軽くなると思う。 ・水の中に溶けて見えなくなっているだけだと思うので、重さは変わらないと思う。	○前時の学習を想起できるよう、児童の予想等を確認する。 *学習活動に沿って、指導・支援の意図、工夫、手立てなどについて、留意すべきことを具体的に書く。
		問題:水にとけたものの重さはどうなるのだろうか。	
展 開 ○ 分	2. 実験方法を確認する。  3. 各グループで実験を行う。  4.	・溶かす前と溶かした後とでは、重さは変わらない。	○実験時の机上の整理など、理科室の使用方法を確認する。  ・思①ものの溶け方について、根拠のある予想や仮説をもとに、条件に着目して解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 【行動・発言・記述分析】
ま と め ○ 分	5.		

【板書計画・ノート計画・ワークシート等 必要に応じて記載するとよい。】

(参考)「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料 小学校理科」

[https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326\\_pri\\_rika.pdf](https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_rika.pdf)